

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2019年6月14日から2029年2月26日までです。	
運用方針	「CPR Invest - クライメート・アクション」への投資を通じて、主に世界の気候変動対応に責任を持って取り組む企業の株式へ投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。また、「CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要運用対象	SMB C・アムンディ クライメート・アクション	CPR Invest - クライメート・アクション CAマネーブルファンド (適格機関投資家専用)
	CPR Invest - クライメート・アクション	世界の株式
	CAマネーブル ファンド(適格機 関投資家専用)	本邦通貨表示の短期公社債
組入制限	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。	
分配方針	毎決算時（年2回決算、原則として毎年2月と8月の各25日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## SMBC・アムンディ クライメート・アクション

### 運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2020年2月25日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900（フリーダイヤル）  
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで  
ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税金 分	込み 期騰 落	中 率	投資 組	信託 証券 比率	投資 組	証券 比率	純資産総額
(設定日) 2019年6月14日	円 10,000		円 -	% -		% -		% -	百万円 92
1期(2020年2月25日)	10,718		300	10.2		0.0		96.0	645

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)、純資産総額は設定元本を表示しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

## ■当期中の基準価額等の推移

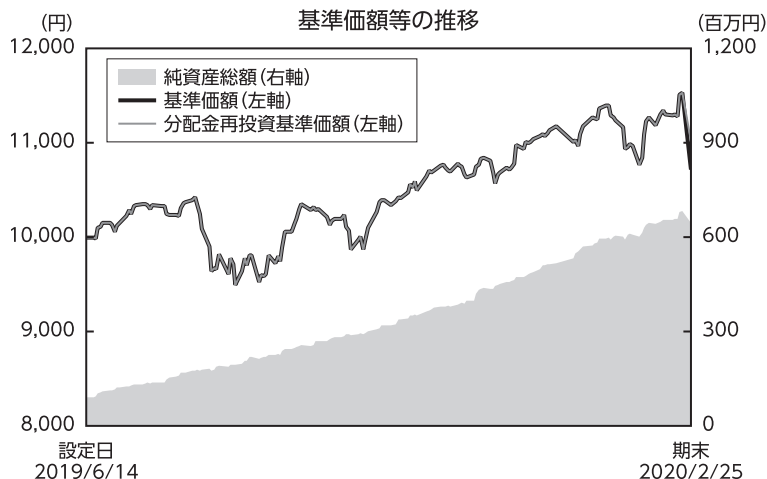
年月日	基準価額	騰落率	投資 組	信託 証券 比率	証券 比率	投資 組	証券 比率
(設定日) 2019年6月14日	円 10,000	% -			% -		% -
6月末	10,154	1.5			0.2		95.6
7月末	10,350	3.5			0.2		96.6
8月末	9,803	△ 2.0			0.1		98.0
9月末	10,188	1.9			0.1		98.0
10月末	10,588	5.9			0.1		98.1
11月末	10,843	8.4			0.1		98.8
12月末	11,172	11.7			0.1		97.1
2020年1月末	10,963	9.6			0.0		97.0
(期末) 2020年2月25日	11,018	10.2			0.0		96.0

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額(10,000円)です。

(注2) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

【基準価額等の推移】

設定日	10,000円
第1期末	10,718円
既払分配金 (税込み)	300円
騰落率	10.2% (分配金再投資ベース)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ① 2019年8月中旬を底に当期末近くまで、良好な景気、好業績、利下げ、政治的不透明感の解消などを材料に、世界株式市場が堅調に推移したこと
- ② 9月から年末にかけて、為替市場でも円安傾向で推移したこと
- ③ 当期を通じておおむねオーバーウェイトしていた情報技術、公益事業、ヘルスケアセクターなどが好パフォーマンスを実現したこと

下落要因

- ① 8月初めに米中貿易摩擦激化を懸念して一時的に世界の株式市場が調整したこと
- ② 7月から8月にかけて、英国のEU(欧州連合)離脱をめぐる混乱や、米中貿易摩擦激化を懸念して円高となったこと
- ③ 組入比率は低かったものの、エネルギーセクターが2020年に入って下落したこと

**【投資環境】****<世界株式市場>**

世界株式市場は、主要中央銀行の金融緩和期待と米中の通商協議再開などを支えに当期首から7月末まで堅調に推移しました。実際に7月末にFRB（米連邦準備理事会）は利下げを実施しましたが、FRB高官の発言などから大幅な追加利下げ期待が剥落、8月初めに米中間の貿易をめぐる緊張が再び高まったことも嫌気されて株価は調整し、8月中旬に当期の安値を記録しました。その後は当期末近くまで上昇相場となりました。米中通商協議の再開と部分合意、FRBの二度の利下げ、情報技術セクターを中心とした企業業績拡大、英国の総選挙での与党の勝利などが株価をけん引する材料となり、世界株式は過去最高値の更新が続きました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、株価は最高値からは下落したものの、通期ではほとんどのセクターがプラス圏で当期末を迎えました。もっとも、エネルギーセクターは軟調に推移し、当期を通じて下落した唯一のセクターとなりました。

2019年は記録的に暑い一年となり、各地で異常気象が頻発しましたが、世界的な気候温暖化に対する懸念が化石燃料に対する需要抑制要因となり始めたことがエネルギーセクターの下落の一因であると思われる。

**<為替市場>**

為替市場では、2019年7月に英国で強硬離脱派のジョンソン氏が新首相に就任したことで、英国のEU離脱が混乱を伴うものになる懸念が強まり、英ポンドが大幅安となりました。また、8月には米中間の貿易摩擦が再び強まり、円は主要通貨に対して独歩高となりました。9月以降はこうした懸念が徐々に解消し、円安傾向となりました。特に英ポンドは12月の総選挙で与党・保守党が大勝して材料出尽くしとなるまで大きく反発しました。米ドルは年明け以降も堅調に推移し、期初よりも米ドル高の水準で当期末を迎えました。一方、新型コロナウイルスなどによる中国の景気減速の影響が大きい豪ドルやユーロは、2020年1月下旬以降反落しました。

**<日本短期国債市場>**

当期の短期国債市場では、日銀によるマイナス金利政策のもと、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは-0.14%前後の水準で始まりました。9月末にかけては、国内投資家の担保需要に加えて年末越え要因による海外投資家の需要が高まったことで、利回りが大幅に低下しましたが、その後は、海外投資家の買い需要が後退したことで、利回りは上昇に転じ-0.13%前後の水準で期末を迎えました。

**【ポートフォリオ】****<当ファンド>**

当ファンドは、主に世界の気候変動対応に責任を持って取り組む企業の株式へ投資する「CPR Invest - クライメート・アクション」に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。「CPR Invest - クライメート・アクション」の組入比率は、高位を維持しました。また、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

### <CPR Invest - クライメート・アクション>

当ファンドは、二酸化炭素排出量削減に積極的でESG<sup>\*</sup>評価の優れた企業のなかでも、バリュエーションと業績見通しの優れた75前後の銘柄で構成される株式ポートフォリオ運用を行いました。期中、新しい投資アイデアやバリュエーション、業績見通しの変化に応じて銘柄入れ替えや比率変更を行いました。セクター別では、情報技術、ヘルスケア、資本財・サービス、生活必需品、金融などの組入れを高位に保ちました。公益事業、不動産などについては組入れを拡大、エネルギー、素材、一般消費財・サービスについては組入れを引き下げました。市場別では、米国の組入れを50%超に引き上げた一方、フランスなどを引き下げました。新興国の組入れは低位に保ちました。

※ ESGは環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったもので、企業の持続的な成長性を判断するための評価軸です。

(CPRアセットマネジメント)

### <CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)>

当期、主として12ヵ月以内に償還を迎える地方債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

#### 【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、分配を行いました（分配金額および分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

#### 【今後の運用方針】

##### <当ファンド>

当ファンドが主要投資対象とする「CPR Invest - クライメート・アクション」の組入比率を引き続き高位に保ちます。また、「CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)」にも投資します。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

### <CPR Invest - クライメート・アクション>

新型コロナウイルスの感染がどれだけ広く、長く、深く続くか不透明感は強いものの、少なくとも2020年前半の景気と企業業績にかなりのマイナスの影響があると予想されます。早期に最悪のシナリオを株価が織り込めば、治療薬や予防薬の開発のめどがついた時点でV字型の回復も可能ですが、その時期を見通すのは困難です。株価が大きく下がった局面は、これまで割高感から組入れを避けていた個別銘柄を組入れる好機ですが、ポートフォリオ全体としては、ディフェンシブ銘柄と景気循環銘柄を組み合わせたバランスのとれた資産配分を継続します。

(CPRアセットマネジメント)

### <CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)>

安全性重視の観点から、12ヵ月以内に償還を迎える債券への投資により安定的な運用を行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 1 期 (2019年6月14日 ～2020年2月25日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	80円 (20) (57) ( 2)	0.757% (0.193) (0.541) (0.023)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 ( 1) ( 0)	0.008 (0.008) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	81	0.765	

期中の平均基準価額は10,507円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

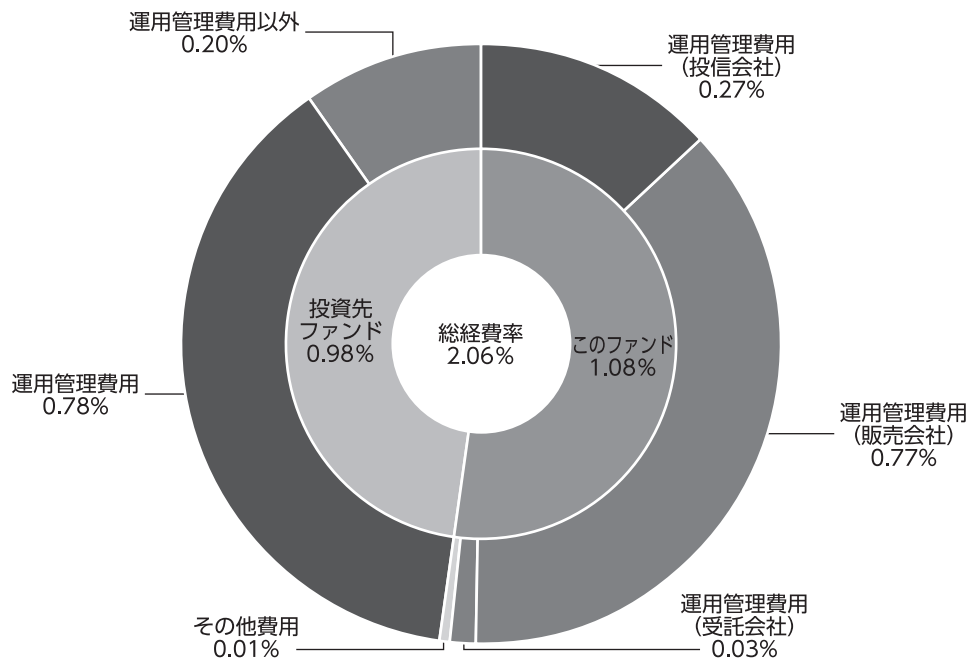
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.06%です。



総経費率 (①+②+③)	2.06%
①このファンドの費用の比率	1.08%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.78%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2019年6月14日から2020年2月25日まで）

投資信託受益証券、投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	千口	千円	千口	千円
		300	301	—	—
外国	（ルクセンブルク） CPR Invest - クライメート・アクション	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
		45	4,845	—	—

（注1）金額は受渡し代金です。

（注2）単位未满是切捨てです。

■利害関係人との取引状況等（2019年6月14日から2020年2月25日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2020年2月25日現在）

(1) 国内（邦貨建）投資信託受益証券

銘 柄		当 期 末	
		口 数	評 価 額
CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）		千口 300	千円 301
合 計	口 数・金 額	300	301
	銘 柄 数 <比 率>	1	<0.0%>

（注1）< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。以下同じ。

（注2）評価額の単位未满是切捨てです。以下同じ。

(2) 外国（外貨建）投資証券

銘 柄		当 期 末		
		口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
（ルクセンブルク） CPR Invest - クライメート・アクション		千口 45	千ユーロ 5,148	千円 619,543
合 計	口 数・金 額	45	5,148	619,543
	銘 柄 数 <比 率>	1	—	<96.0%>

（注）邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。



■投資信託財産の構成 (2020年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	301	0.0
投 資 証 券	619,543	93.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	46,325	7.0
投 資 信 託 財 産 総 額	666,169	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (619,543千円) の投資信託財産総額 (666,169千円) に対する比率は93.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、2020年2月25日現在における邦貨換算レートは、1ユーロ=120.33円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年2月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	666,169,236円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	46,324,094
投資信託受益証券(評価額)	301,470
投 資 証 券(評価額)	619,543,672
(B) 負 債	20,750,918
未 払 収 益 分 配 金	18,066,098
未 払 解 約 金	15,541
未 払 信 託 報 酬	2,643,483
未 払 利 息	95
そ の 他 未 払 費 用	25,701
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	645,418,318
元 本	602,203,288
次 期 繰 越 損 益 金	43,215,030
(D) 受 益 権 総 口 数	602,203,288口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	10,718円

(注記事項)

期首元本額 92,331,870円

期中追加設定元本額 526,943,849円

期中一部解約元本額 17,072,431円

■損益の状況

当期 (自2019年6月14日 至2020年2月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 9,474円
支 払 利 息	△ 9,474
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	34,399,312
売 買 益	36,387,771
売 買 損	△ 1,988,459
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,669,346
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	31,720,492
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	29,560,636
(配 当 等 相 当 額)	(△ 15,666)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 29,576,302)
(F) 計 (D+E)	61,281,128
(G) 収 益 分 配 金	△18,066,098
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	43,215,030
追 加 信 託 差 損 益 金	29,560,636
(配 当 等 相 当 額)	(△ 15,666)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 29,576,302)
分 配 準 備 積 立 金	13,663,868
繰 越 損 益 金	△ 9,474

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (31,729,966円)、および信託約款に規定する収益調整金 (29,566,828円) より分配対象収益は 61,296,794円 (1万口当たり1,017円) であり、うち18,066,098円 (1万口当たり300円) を分配金額としております。

## ■分配金のお知らせ

決 算 期	第 1 期
1 万口当たりの分配金 (税込み)	300円

## ◇分配金をお支払いする場合

分配金は決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

## ◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超過して支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

## 【分配原資の内訳】

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項 目	第 1 期
	(2019年6月14日～2020年2月25日)
当期分配金	300
(対基準価額比率)	(2.723%)
当期の収益	300
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	717

(注1) 「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2) 「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## <1. 補足情報>

「CPR Invest - クライメート・アクション」の決算日は毎年12月末ですが、当運用報告書作成時点において監査が終了していないため、開示できる年次情報はございません。

つきましては、以下2020年2月24日現在における「CPR Invest - クライメート・アクション」の補足情報を掲載しています。

### ■有価証券明細（評価額上位30銘柄）（2020年2月24日現在）

#### (1) 株式

	銘柄	通貨	株数	ユーロ換算評価額
アメリカ	MICROSOFT CORP	USD	47,900	7,539,843.41
	SALESFORCE COM. INC	USD	43,300	7,416,019.90
イギリス	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	GBP	97,200	7,229,101.73
アメリカ	TJX COS INC	USD	125,300	7,126,859.49
アイルランド	ACCENTURE - SHS CLASS A	USD	37,800	7,115,376.04
	KERRY GROUP -A-	EUR	56,100	6,900,300.00
アメリカ	HOME DEPOT INC	USD	30,600	6,756,155.30
	MERCK AND CO	USD	88,000	6,592,400.87
フランス	DANONE	EUR	96,500	6,517,610.00
アメリカ	BANK OF AMERICA CORP	USD	213,200	6,427,519.00
	METLIFE INC	USD	137,200	6,240,442.13
	PROCTER AND GAMBLE CO	USD	54,400	6,178,344.77
フランス	AXA SA	EUR	259,400	6,055,693.00
ポルトガル	EDP-ENERGIAS REG. SHS	EUR	1,231,700	5,795,148.50
イギリス	ASTRAZENECA PLC	GBP	63,400	5,620,291.68
アメリカ	ADOBE INC	USD	16,700	5,497,855.66
	UNITED TECHNOLOGIES CORP	USD	40,100	5,414,137.15
フランス	ENGIE	EUR	334,500	5,383,777.50
アメリカ	MORGAN STANLEY	USD	115,300	5,276,197.67
	ELI LILLY AND CO	USD	40,900	5,204,564.09
フランス	SCHNEIDER ELECTRIC SE	EUR	52,600	5,185,308.00
アメリカ	BAXTER INTERNATIONAL INC	USD	62,400	5,145,923.64
日本	ASAHI GROUP HD	JPY	126,600	5,057,953.64
アメリカ	ESTEE LAUDER COMPANIES INC -A-	USD	27,400	5,016,876.53
	MARSH MC-LENNAN COS. INC.	USD	48,000	5,010,675.63
ドイツ	DEUTSCHE TELEKOM AG REG SHS	EUR	308,900	4,991,824.00
スペイン	REPSOL SA	EUR	438,400	4,960,496.00
アメリカ	STANLEY BLCK DECK	USD	34,700	4,828,882.24

#### (2) 投資証券

	銘柄	通貨	口数	ユーロ換算評価額
フランス	CPR CASH -P- CAP	EUR	737	16,426,513.95
	CPR CASH SICAV -I- CAP	EUR	1	11,159,373.23

(注) 通貨欄の表記は以下の通りです。

USD (米ドル)、GBP (英ポンド)、EUR (ユーロ)、JPY (円)

## <2. 補足情報>

「C A マネープールファンド（適格機関投資家専用）」の決算日（2020年2月17日）と当ファンドの決算日が異なっていますので、以下2020年2月25日現在における「C A マネープールファンド（適格機関投資家専用）」の補足情報を掲載しています。

### ■組入資産の明細（2020年2月25日現在）

公社債

#### (A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	2020 年 2 月 25 日 現 在						
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地 方 債 証 券	480,000	481,844	64.8	—	—	—	64.8
合 計	480,000	481,844	64.8	—	—	—	64.8

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

#### (B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄	2020 年 2 月 25 日 現 在			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
地 方 債 証 券	第174回神奈川県公募公債	1.17	180,000	180,676	2020/6/19
	平成22年度第1回広島市公募公債	0.93	100,000	100,638	2020/10/26
	平成22年度第1回北海道公募公債	1.47	200,000	200,530	2020/4/30
	合 計		480,000	481,844	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

## CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）

## 運用報告書

《第13期》

決算日：2020年2月17日

（計算期間：2019年2月16日～2020年2月17日）

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざして運用を行うとともに、あわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。
主要運用対象	本邦通貨表示の短期公社債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基	準 価 額		債券組入率 比	純 資 産 額
		税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率		
9期（2016年2月15日）	円	円	%	%	百万円
10期（2017年2月15日）	10,077	0	0.0	66.6	4,511
11期（2018年2月15日）	10,067	0	△0.1	63.6	791
12期（2019年2月15日）	10,064	0	△0.0	65.3	770
13期（2020年2月17日）	10,055	0	△0.1	59.0	763
	10,048	0	△0.1	61.1	788

（注）当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

## ■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 率
		騰 落	率	
(期 首) 2019年 2月15日	円 10,055		% —	% 59.0
2月末	10,055		0.0	59.0
3月末	10,054		△0.0	58.7
4月末	10,054		△0.0	58.4
5月末	10,053		△0.0	65.4
6月末	10,051		△0.0	63.1
7月末	10,051		△0.0	64.1
8月末	10,050		△0.0	64.3
9月末	10,050		△0.0	64.2
10月末	10,050		△0.0	63.0
11月末	10,049		△0.1	64.2
12月末	10,049		△0.1	64.4
2020年 1月末	10,049		△0.1	64.8
(期 末) 2020年 2月17日	10,048		△0.1	61.1

(注) 騰落率は期首比です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第13期 (2019年 2月16日 ～2020年 2月17日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	1円 (1) (0) (0)	0.011% (0.009) (0.001) (0.002)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	0 (0)	0.004 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	1	0.015	

期中の平均基準価額は10,051円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ■期中の売買及び取引の状況 (2019年2月16日から2020年2月17日まで)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	地 方 債 証 券	485,723	(450,000)
	特 殊 債 証 券	100,150	(100,000)

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■主要な売買銘柄 (2019年2月16日から2020年2月17日まで)

## 公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
千円		千円	
平成22年度第1回北海道公募公債	202,772		
第174回神奈川県公募公債	182,077		
平成22年度第1回広島市公募公債	100,874		
第21回政府保証株式会社日本政策投資銀行社債	100,150		

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

## ■利害関係人との取引状況等 (2019年2月16日から2020年2月17日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細 (2020年2月17日現在)

## 公社債

## (A) 債券種類別開示

## 国内 (邦貨建) 公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地 方 債 証 券	480,000 (380,000)	481,932 (381,293)	61.1 (48.4)	— (—)	— (—)	— (—)	61.1 (48.4)
合 計	480,000 (380,000)	481,932 (381,293)	61.1 (48.4)	— (—)	— (—)	— (—)	61.1 (48.4)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 一印は組入れなしです。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注5) ( )内は非上場債で内書きです。

## (B) 個別銘柄開示

## 国内 (邦貨建) 公社債

種 類	銘 柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
地 方 債 証 券	平成22年度第1回北海道公募公債	1.47	200,000	200,586	2020/4/30
	第174回神奈川県公募公債	1.17	180,000	180,707	2020/6/19
	平成22年度第1回広島市公募公債	0.93	100,000	100,639	2020/10/26
合 計			480,000	481,932	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

## ■投資信託財産の構成 (2020年2月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	481,932	61.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	306,324	38.9
投 資 信 託 財 産 総 額	788,256	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2020年2月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	788,256,496円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	304,525,507
公 社 債(評価額)	481,932,400
未 収 利 息	1,717,055
前 払 費 用	81,534
(B) 負 債	94,679
未 払 信 託 報 酬	83,195
未 払 利 息	684
そ の 他 未 払 費 用	10,800
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	788,161,817
元 本	784,360,573
次 期 繰 越 損 益 金	3,801,244
(D) 受 益 権 総 口 数	784,360,573口
1万口当たり基準価額(C/D)	10.048円

(注記事項)

期首元本額	759,136,573円
期中追加設定元本額	95,274,473円
期中一部解約元本額	70,050,473円

## ■損益の状況

当期 自2019年2月16日 至2020年2月17日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,708,980円
受 取 利 息	3,932,788
支 払 利 息	△ 223,808
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,045,139
売 買 損 益	152,682
売 買 損 益	△ 4,197,821
(C) 信 託 報 酬 等	△ 115,988
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 452,147
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 1,219,952
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	5,473,343
(配 当 等 相 当 額)	( 7,422,081)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,948,738)
(G) 計 (D+E+F)	3,801,244
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	3,801,244
追 加 信 託 差 損 益 金	5,473,343
(配 当 等 相 当 額)	( 7,422,081)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,948,738)
分 配 準 備 積 立 金	17,906,433
繰 越 損 益 金	△19,578,532

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 《お知らせ》

- ・2019年8月14日付で、デリバティブ取引等に係る投資制限の条文新設に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。